

介護実習プログラム

| | | |
|--------------------|---|--------------|
| 施設名 | 介護老人保健施設 せんけい苑 | |
| 事業種別 | 介護老人保健施設 | |
| 所在地 | 洲本市桑間字太田495-1 | |
| 実習受入人数/日 | 5名 | |
| 実習プログラム /スケジュール | 9:00 | 挨拶、オリエンテーション |
| | 10:00 | 水分介助 |
| | | 排泄介助 |
| | | 移乗移動動作介助 |
| | | 利用者様との交流 |
| | 11:00 | 食事準備 |
| | | 起床介助 |
| | 11:30 | 食事介助 |
| | 12:30~13:30 | 休憩 |
| | 13:30 | 排泄介助 |
| | | 移乗移動介助 |
| | | 入浴介助 |
| | | 更衣動作介助 |
| | | 水分介助 |
| 16:00 | レクリエーション | |
| | 質疑応答 | |
| 17:00 | 実習フィードバック | |
| | 挨拶、終了 | |
| 実習プログラムの特色 | <p>介護老人保健施設という施設の特徴である医療との連携、在宅復帰、重度医療対象者等、多種多様な利用者様と関わっていただくとともに、これまでに習得した知識、技術が現場でどのように活用されているかを確認していただく。</p> <p>また、ケアプランがどのように作成され、それがどのように施行されているかを実際の計画書を確認しながら実習に臨んでいただく。</p> <p>可能な限り積極的に実習に取り組んでいただき、上記の内容に加えて「コミュニケーション」に着目した実習を行っていただく。</p> | |
| 指導体制・内容 評価方法 | <p>指導責任者：1名</p> <p>責任者とは別に指導者を実習生2名につき1名配置する</p> <p>態度、姿勢、研修内容の習得度を指導者、指導責任者の方に評価していただく</p> <p>「挨拶」、「言葉遣い」、「コミュニケーション」を意識した行動を心掛け、積極的に実習に取り組んでください</p> | |

介護実習プログラム

| | | |
|--------------------|---|--------------|
| 施設名 | 介護老人保健施設 せんけい苑 | |
| 事業種別 | 通所リハビリテーション | |
| 所在地 | 洲本市桑間字太田495-1 | |
| 実習受入人数/日 | 5名 | |
| 実習プログラム /スケジュール | 9:00 | 挨拶、オリエンテーション |
| | 10:00 | 水分介助 |
| | | 排泄介助 |
| | | 移乗移動動作介助 |
| | | 入浴介助 |
| | | 更衣介助 |
| | | 利用者様との交流 |
| | 11:30 | 食事準備 |
| | | 食事介助 |
| | 12:30~13:30 | 休憩 |
| | 13:30 | 排泄介助 |
| | | 移乗移動介助 |
| | | 水分介助 |
| レクリエーション | | |
| 14:30 | 質疑応答 | |
| | 実習フィードバック | |
| 15:00 | 挨拶、終了 | |
| 実習プログラムの特色 | <p>通所リハビリテーションの特色である、重介護者、自立支援、リハビリテーションを中心に体験していただく。在宅サービスであるため、利用者様の生活を尊重した介護を行い、自立支援を促すような介護とはどのようなものであるかを体験していただく。また、ケアプランがどのように活用されているかを介護、リハビリテーションの各方面から確認し、多職種で連携することの重要性知っていただく。</p> <p>可能な限り積極的に実習に取り組んでいただき、上記の内容に加えて「コミュニケーション」に着目した実習を行っていただく。</p> | |
| 指導体制・内容 評価方法 | <p>指導責任者：1名 責任者とは別に指導者を実習生2名につき1名配置する 態度、姿勢、研修内容の習得度を指導者、指導責任者の方に評価していただく 「挨拶」、「言葉遣い」、「コミュニケーション」を意識した行動を心掛け、積極的に実習に取り組んでください</p> | |

介護実習プログラム

| | | |
|--------------------|---|--------------|
| 施設名 | サービス付き高齢者向け住宅 いちごの家・楽園すもと | |
| 事業種別 | 通所介護 | |
| 所在地 | 洲本市物部1丁目13-26 | |
| 実習受入人数/日 | 5名 | |
| 実習プログラム /スケジュール | 9:00 | 挨拶、オリエンテーション |
| | 10:00 | 水分介助 |
| | | 排泄介助 |
| | | 移乗移動動作介助 |
| | | 入浴介助 |
| | | 更衣介助 |
| | | 利用者様との交流 |
| | 11:30 | 食事準備 |
| | | 食事介助 |
| | 12:30~ 13:30 | 休憩 |
| | 13:30 | 排泄介助 |
| | | 移乗移動介助 |
| | | 水分介助 |
| | | レクリエーション |
| 14:30 | 質疑応答 | |
| | 実習フィードバック | |
| 15:00 | 挨拶、終了 | |
| 実習プログラムの特色 | <p>デイサービスの特色である、社会交流、自立支援を念頭に実習に臨んでいただく。ケアプラン等により、生活歴等を把握し、それを踏まえたうえでの介助方法の選定を行い、利用者様だけでなくその家族様も充実した在宅生活を送れるような支援を経験していただく。</p> <p>可能な限り積極的に実習に取り組んでいただき、上記の内容に加えて「コミュニケーション」に着目した実習を行っていただく。</p> | |
| 指導体制・内容 評価方法 | <p>指導責任者：1名 責任者とは別に指導者を実習生2名につき1名配置する 態度、姿勢、研修内容の習得度を指導者、指導責任者の方に評価していただく</p> <p>「挨拶」、「言葉遣い」、「コミュニケーション」を意識した行動を心掛け、積極的に実習に取り組んでください</p> | |